2022年2月の Global　Session のお知らせ

期日：2022年2月20日（日）1：30～3：00

場所：ガレリア2階　研修室

ゲスト：村田英克さん（JT 生命誌研究館：表現を通して生きものを考えるセクターチーフ）

コーディネーター：募集中

タイトル：映画「食草園が誘う昆虫と植物のかけひきの妙」を見てセッション

参加費：600円（子どもさん：無料）

申し込み：20人ほど（児嶋まで）Tel：0771－23－6579

e-mail：kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp

村田さんから(今回は4回目)

「次回の session では、今年、**私がつくった研究館の映画**をみなさんに見ていただいて、その後、ディスカッションというプランでどうかと考えています。映画は、67 分です。

「**食草園が誘う昆虫と植物のかけひきの妙**」という作品で、以下に紹介があります。

https://www.brh.co.jp/event_lecture/detail/792

　実は、来年の夏休みから、東京、大阪のミニシアター（映画館）でこの映画をかけてくれることになりました。劇場公開に先立ち、Global session のみなさまにご覧いただき、ご感想、ご意見をいただきたいと思っているところです。」

　2021年6月には、村田さんに、**謡曲『胡蝶』と生命誌研究館の「食草園」企画展**について話していただきました。生命誌研究館の「表現を通して生きものを考える」という村田さんのお仕事について、日常の「生きもの感覚」に重ねて誰もが「**生きているとはどういうことか？**」を考える機会を提供することが、役割だとも話しておられました。2021年12月25日(土)に**亀岡市民大学で講演をされた永田和宏さんは、ここの館長さんで、細胞学者で歌人でもあります。その永田さんは、生命誌研究館を「<問い>を発掘する場」と表現されています。**何か新しいことがわかると、さらにわからないことが見えてくると。科学に限らず、芸術や表現、人間という生きものの一生(人生)、すなわち生活者としての日々の営み(文化)の源泉とも言えるかと思いますと村田さんも述べていらっしゃいます。

Office Com junto &亀岡国際交流協会共催